



戸田市選出の埼玉県議会議員

【無所属・36歳】

ふみひと



すがわら文仁



43号【発行者：刷新の会戸田支部 菅原文仁】戸田市本町5-12-26-2F TEL/FAX 048-299-4949
ホームページ sugawarafumihito.com メールアドレス sawayaka@sugawarafumihito.com

※すがわらレポートは、定期的に発行する気軽な県政報告です。

速報 県内・戸田市内の放射線量測定値を裏面に掲載。



6月15日(水)
旧騎西高校(加須市)
福島県の大葉町民900名以上が避難している旧騎西高校に伺い、井戸川克隆町長意見交換。被災者支援や復旧・復興対策について現場の状況と今後の課題を確認しました。

7月1日(金)
荒川水循環センター
下水処理場で発生した放射性物質を含む汚泥と焼却灰の管理状況を視察しました。一刻も早い最終処分プロセスの構築を要望しております。



7月16日(土)
大宮駅東口前
上田知事候補の街頭演説のお手伝いを行ないました。若手の市議県議が駆け付けての一日リレー演説で、顔も腕も真っ黒に日焼けしました。

7月24日(日)
明治大学(御茶ノ水)
多くの自治体首長、自治体議員が所属する、都市政策フォーラムにて、東日本大震災の対応と今後のあり方について討論しました。



7月31日執行

埼玉県知事選挙の結果(投票率 24.89%)

候補者名	得票数	得票率
◎上田清司	1,191,071 票	84.29%
原富悟	171,750 票	12.15%
武田信弘	50,252 票	3.56%

定例会報告

すがわら文仁が提案して実現しました！

『放射性物質から県民の安全と安心を守る決議』

が全会一致で可決されました！

県議会議員として初の6月定例会(会期:6月20日~7月8日)が終了しました。知事提出の議案は86号~96号の10件、議員提出の議案は、意見書9件、決議2件でした。また、採択された請願は2件でした。以上の案件は企画財政委員会をはじめとする8つの常任委員会や議会運営委員会の慎重な審議と、本会議の討論を経て採決の結果、全ての議案が可決されました。

今議会では、すがわらが所属する刷新の会から、議員提出の決議案が1件、意見書案が8件を議会運営委員会に提案し、5件の全部・一部趣旨採用がありました。

なかでも、放射性物質から県民を守るために議会の強い意思を示した決議は、私が全文を作成しました。今後の放射性物質対策を徹底させるための県民の声を形にすることで、県政を動かす一助になったものと自負しております。

【菅原が作成した決議文】

放射性物質から県民の安全と安心を守る決議

3月11日に発生した東日本大震災は、我が国に未曾有の被害をもたらし、多くの尊い命と国民財産を奪った。特に、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う放射性物質の拡散は、未だ予断を許さない状況が続いている。

現在、本県においても多くの県民から乳幼児、児童及び生徒への放射性物質の影響による懸念が寄せられており、明確な安全基準のない中、県民の安全と安心は大きく損なわれている。

よって、県は、放射性物質から子供たちの生命と健康を守り、放射性物質に関する県民の不安と不信を最小限に抑えていくため、実行可能な施策を徹底的に推進するよう強く求める。

以上、決議する。

平成23年7月8日

埼玉県議会

戸田市・埼玉県の放射線量測定結果

※データは6月-7月までの市と県のホームページから引用しております。常に最新のデータをご確認ください。

①大気中の測定結果

埼玉県及び戸田市の量測定結果はともに国際放射線防護委員会(ICRP)の年間基準値 1mSv(ミリシーベルト)に対し、十分に低い値となっています。

【埼玉県発表分】

埼玉県では、さいたま市内で、随時空間線量を測定しています。概算として、7月の平均値(0.051マイクロSv/時)で経過した場合の1年(12カ月)分の線量は477マイクロSv(=0.477ミリSv)となり、年間基準値の1ミリSvを下回ります。また埼玉県は、県内116箇所で空間線量を測定しており、戸田市では笹目東小学校が該当しております。

測定場所 (戸田市分)	測定値 [μSv/時]			年間換算値 [mSv/年]			測定日
	5cm	50cm	100cm	5cm	50cm	100cm	
笹目東小学校	0.066	0.067	0.066	0.347	0.352	0.347	7/23

測定機器富士電機製 Nhc7 シンチレーションサーベイメータ(エネルギー補償型γ線測定用)

【戸田市発表分】

戸田市の暫定目標値：年間放射線量 1mSv(ミリシーベルト)以下
※平常時の自然放射線以外の放射線の基準：年間1mSv〔国際放射線防護委員会(ICRP)〕

＜教育機関＞

測定場所	測定値 [μSv/時]			年間換算値 [mSv/年]			測定日
	5cm	50cm	100cm	5cm	50cm	100cm	
喜沢小学校	0.083	0.075	-	0.436	0.394	-	6/7
さざわ保育園	0.084	0.072	-	0.442	0.378	-	6/7
喜沢中学校	0.052	-	0.055	0.273	-	0.289	6/7
戸田第二小学校	0.058	0.056	-	0.305	0.294	-	6/7
喜沢南保育園	0.083	0.076	-	0.436	0.399	-	6/7
戸田第一幼稚園	0.060	0.058	-	0.315	0.305	-	6/7
戸田東幼稚園	0.076	0.068	-	0.399	0.357	-	6/7
戸田東小学校	0.072	0.064	-	0.378	0.336	-	6/9
戸田東中学校	0.076	-	0.064	0.399	-	0.336	6/9
はごろも幼稚園	0.069	0.065	-	0.363	0.342	-	6/9
下戸田保育園	0.099	0.090	-	0.520	0.473	-	6/8
戸田子ども園	0.048	0.048	-	0.252	0.252	-	6/15
上戸田保育園	0.081	0.076	-	0.426	0.399	-	6/9
戸田第一小学校	0.093	0.070	-	0.489	0.368	-	6/9
桑の実戸田公園保育園	0.070	0.065	-	0.368	0.342	-	6/9
戸田幼稚園	0.084	0.079	-	0.442	0.415	-	6/9
戸田公園駅前さくら草保育園	0.108	0.099	-	0.568	0.520	-	6/9
つつじ幼稚園	0.073	0.074	-	0.384	0.389	-	6/8
戸田南小学校	0.072	0.068	-	0.378	0.357	-	6/8
戸田中学校	0.073	-	0.069	0.384	-	0.363	6/8
上戸田南保育園	0.085	0.072	-	0.447	0.378	-	6/8
カトリア幼稚園	0.071	0.064	-	0.373	0.336	-	6/15
戸田駅前保育所	0.116	0.102	-	0.610	0.536	-	6/15
戸田駅前さくら草保育園	0.085	0.073	-	0.447	0.384	-	6/16
戸田翔陽高等学校	0.061	-	0.061	0.321	-	0.321	6/14
新曾北小学校	0.062	0.063	-	0.326	0.331	-	6/16
新曾中学校	0.076	-	0.057	0.399	-	0.300	6/16
北戸田Jキッズステーション	0.084	0.062	-	0.442	0.326	-	6/16
新曾保育園	0.052	0.049	-	0.273	0.258	-	6/15
芦原小学校	0.061	0.063	-	0.321	0.331	-	6/16
戸田東第二幼稚園	0.073	0.065	-	0.384	0.342	-	6/16
新曾小学校	0.052	0.055	-	0.273	0.289	-	6/15
新曾南保育園	0.087	0.072	-	0.457	0.378	-	6/15
笹目東保育園	0.083	0.074	-	0.436	0.389	-	6/10
笹目川保育園	0.068	0.061	-	0.357	0.321	-	6/10
笹目東小学校	0.064	0.061	-	0.336	0.321	-	6/10
笹目中学校	0.049	-	0.048	0.258	-	0.252	6/16
ささめ保育園	0.059	0.060	-	0.310	0.315	-	6/10
ささめ幼稚園	0.078	0.068	-	0.410	0.357	-	6/10
笹目小学校	0.081	0.078	-	0.426	0.410	-	6/10
まさば幼稚園	0.059	0.055	-	0.310	0.289	-	6/10
戸田ひまわり幼稚園	0.075	0.072	-	0.394	0.378	-	6/8
あけぼの保育園	0.045	0.047	-	0.237	0.247	-	6/8
美女木小学校	0.064	0.061	-	0.336	0.321	-	6/8
南稜高等学校	0.080	-	0.073	0.420	-	0.384	6/14
美笹中学校	0.061	-	0.057	0.321	-	0.300	6/7
美谷本小学校	0.066	0.061	-	0.347	0.321	-	6/7

＜公共施設及び公園＞

測定場所	測定値 [μSv/時]			年間換算値 [mSv/年]			測定日
	5cm	50cm	100cm	5cm	50cm	100cm	
立野際公園	0.081	0.074	-	0.426	0.389	-	7/21
喜沢2丁目児童公園	0.063	0.061	-	0.331	0.321	-	6/9
喜沢2丁目児童遊園地	0.078	0.071	-	0.410	0.373	-	6/7
喜沢第一公園	0.080	0.068	-	0.420	0.357	-	7/5
喜沢南公園	0.073	0.070	-	0.384	0.368	-	6/21
喜沢南児童遊園地	0.090	0.080	-	0.473	0.420	-	7/5
中町多目的広場	0.073	0.065	-	0.384	0.342	-	6/14
下戸田第二公園	0.075	0.069	-	0.394	0.363	-	6/28
荒井前公園	0.099	0.087	-	0.520	0.457	-	7/21
上町第二公園	0.076	0.073	-	0.399	0.384	-	7/12
東部福祉センター	0.104	-	0.085	0.547	-	0.447	6/28
下前公園	0.078	0.072	-	0.410	0.378	-	6/8
戸田橋親水公園	0.097	0.086	-	0.510	0.452	-	7/5
戸田市役所	0.067	0.071	0.070	0.352	0.373	0.368	7/21
元蔵第二公園	0.062	0.058	-	0.326	0.305	-	7/21
後谷第二公園	0.067	0.062	-	0.352	0.326	-	7/21
後谷児童遊園地	0.062	0.064	-	0.326	0.336	-	6/15
健康福祉の杜	0.100	-	0.080	0.526	-	0.420	6/14
新田公園	0.074	0.069	-	0.389	0.363	-	6/28
南町児童公園	0.052	0.054	-	0.273	0.284	-	7/12
こどもの国	0.091	0.083	-	0.478	0.436	-	6/8
戸田公園駅西口ロータリー	0.092	-	0.066	0.484	-	0.347	6/21
青少年の広場	0.072	0.061	-	0.378	0.321	-	6/8
戸田公園(高台広場)	0.087	0.075	-	0.457	0.394	-	6/21
戸田公園(管理事務所前)	0.122	-	0.067	0.641	-	0.352	6/21
スポーツセンター	0.076	-	0.070	0.399	-	0.368	6/14
新曾福祉センター	0.084	-	0.069	0.442	-	0.363	6/28
第三号市民緑地	0.064	0.065	0.061	0.336	0.342	0.321	7/12
馬場ふれあい公園	0.060	0.061	-	0.315	0.321	-	6/15
菖蒲遊園地	0.068	0.067	-	0.357	0.352	-	7/12
新曾南児童遊園地	0.101	0.085	-	0.531	0.447	-	7/5
学校給食センター	0.100	-	0.073	0.526	-	0.384	6/21
谷口公園	0.076	0.067	-	0.399	0.352	-	6/9
圃中公園	0.069	0.067	-	0.363	0.352	-	6/28
山宮北公園	0.054	0.057	-	0.284	0.300	-	7/12
天王さくら広場	0.076	0.062	-	0.399	0.326	-	6/28
笹目公園	0.056	-	0.051	0.294	-	0.268	7/5
住民広場	0.065	0.061	-	0.342	0.321	-	7/21
早瀬公園	0.064	0.060	-	0.336	0.315	-	6/10
番匠免公園	0.057	0.052	-	0.300	0.273	-	7/5
早瀬児童遊園地	0.088	0.066	-	0.463	0.347	-	6/21
早瀬東公園	0.070	0.058	-	0.368	0.305	-	6/21
北部公園野球場	0.081	-	0.064	0.426	-	0.336	6/14
重瀬公園	0.056	0.051	-	0.294	0.268	-	6/8
新田公園	0.068	0.060	-	0.357	0.315	-	7/12
市民医療センター	0.080	-	0.060	0.420	-	0.315	6/28
リサイクルフラワーセンター	0.083	-	0.055	0.436	-	0.289	6/14
荒川水循環センター上部公園	0.075	0.067	0.064	0.394	0.352	0.336	7/21
道満グランド・カーパ・ベキュー広場	0.065	0.067	-	0.342	0.352	-	6/21

測定機器：NaIシンチレーション検出器 (GEORADIS社 RT-30)

○年間換算値計算式：(測定値 [μSv/時] × 8時間(屋外) + 測定値 × 16時間(屋内) × 0.4(※屋内換算値)) × 365日 ÷ 1000(単位をミリ変換) = 年間換算値 [mSv/年]

※屋内での放射線被ばく量は屋外に比べて40%とされているため。

○測定位置(高さ)は小学校、幼稚園、保育園及び公園は地表から5cmと50cm、中学校及び公共施設は地表から5cmと100cmです。

飲食物摂取制限に関する指標

原子力安全委員会が規定している、放射能汚染された食物の摂取を制限する指標。 [単位：ベクレル(Bq)/kg]

	放射性ヨウ素	放射性セシウム	ウラン	プルトニウム及び超ウラン元素のアルファ核種
飲料水	300※	200	20	1
牛乳・乳製品				
乳幼児用食品	-	-	-	-
野菜類	2,000	500	100	10
魚介類				
穀物・穀類	-	-	-	-
肉・卵・その他	-	-	-	-

※放射性ヨウ素が100Bq/kgを超えるものは、乳児用調製粉乳及び直接飲用に供する乳に使用しないよう指導すること

②埼玉県産農産物への影響調査(埼玉県)

埼玉県産農産物への影響調査では全ての検体で暫定規制値に対し十分に低い値となっています。〔単位：ベクレル(Bq)/kg〕

品目	市町村	放射性ヨウ素	放射性セシウム(134+137)	採取日
野菜類(根菜、芋類は除く)の暫定規制値 放射性ヨウ素：2,000ベクレル/kg 放射性セシウム：500ベクレル/kg				
エダマメ	さいたま市、所沢市、草加市、深谷市	検出せず	検出せず	6/28-7/26
キュウリ	幸手市、日高市、蕨市、志木市、小川町	検出せず	検出せず	7/5-7/12
コマツナ	三郷市、さいたま市、越谷市	検出せず	検出せず	6/28-7/19
ジャガイモ	さいたま市、川口市、長瀬町、戸田市	検出せず	検出せず	6/21-7/12
スイートコーン	滑川町、深谷市	検出せず	検出せず	6/14-21
ズッキーニ	ときがわ町	検出せず	検出せず	6/21
ダイコン	新座市	検出せず	検出せず	7/5
タマネギ	本庄市	検出せず	検出せず	6/7
ナシ	久喜市、伊奈町	検出せず	検出せず	7/26
ナス	春日部市、秩父市、深谷市、八潮市、上里町、杉戸町	検出せず	検出せず	7/5-19
ニンジン	熊谷市、深谷市	検出せず	検出せず	6/7-14
ネギ	越谷市、寄居町、吉川市	検出せず	検出せず	6/28
プラム	東秩父村	検出せず	検出せず	7/26
ブルーベリー	日高市、美里町、秩父市	検出せず	検出せず -8.8	6/14-28
ハウレンソウ	坂戸市、越谷市、新座市、朝霞市、和光市	検出せず	検出せず	6/7-14
ミズナ	本庄市	検出せず	検出せず	6/7
ミニトマト	松伏町	検出せず	検出せず	7/5
穀類・肉・卵・その他の暫定規制値 放射性ヨウ素：なし 放射性セシウム：500ベクレル/kg				
牛肉	深谷市	検出せず	検出せず	7/27
生茶葉(二番茶)	狭山市、所沢市、入間市	検出せず	41.6-50.4	7/11
製茶	狭山市、所沢市、鶴ヶ島市、日高市、入間市、飯能市	検出せず	80-390	6/16
荒茶(二番茶)	入間市、所沢市、狭山市	検出せず	58.7-105.4	7/14
小麦	羽生市、滑川町、吉川市、熊谷市、上里町、鴻巣市、春日部市、久喜市他、美里町他、さいたま市、川越市他、秩父市他、深谷市、桶川市、杉戸町	検出せず	検出せず -51	6/13-7/12
はだか麦	川越市、熊谷市、鴻巣市	検出せず	検出せず -14.6	6/29-7/12
二条大麦(ビール大麦)	久喜市他、熊谷市、秩父市、本庄市他、杉戸町、行田市	検出せず	8.6-90	6/13-7/7
六条大麦(小粒大麦)	熊谷市、深谷市、鴻巣市、川島町、鳩山町	検出せず	検出せず -33	6/13-7/12
飲料水、牛乳・乳製品の暫定規制値 放射性ヨウ素：300ベクレル/kg※ 放射性セシウム：200ベクレル/kg				
飲用茶(二番茶)	入間市、所沢市、狭山市	検出せず	検出せず -3.2	7/13
原乳	本庄市、深谷市、14市町分※1、8市町分※2、9市町分※3、10市町分※4、8市町分※5、6市町分※6	検出せず	検出せず -4	6/29-7/27

※放射性ヨウ素が100ベクレル/kgを超えるものは、乳児用調製粉乳及び直接飲用に供する乳に使用しないよう指導すること、としています。

※1 さいたま市、行田市、所沢市、加須市、東松山市、羽生市、入間市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、嵐山町、川島町、鳩山町、松伏町 ※2 熊谷市、秩父市、本庄市、東松山市、深谷市、小鹿野町、神川町、寄居町 ※3 所沢市、上尾市、入間市、蓮田市、鶴ヶ島市、日高市、嵐山町、川島町、鳩山町 ※4 熊谷市、秩父市、本庄市、東松山市、深谷市、小鹿野町、美里町、神川町、上里町、寄居町 ※5 所沢市、東松山市、上尾市、入間市、蓮田市、鶴ヶ島市、日高市、嵐山町、川島町、鳩山町 ※6 熊谷市、秩父市、東松山市、深谷市、小鹿野町及び寄居町

③給食用食材の検査結果(戸田市)

今年度、戸田市の学校給食では牛肉を使用していません。また保育園給食は7月8日に牛肉を使用しましたが、問題の個体識別番号ではないと確認済みです。(当面牛肉は使用しないとの事)

採取日	品名(産地)	測定結果
7/4	ネギ(千葉県)	放射性ヨウ素・放射性セシウムともに不検出
7/5	キャベツ(群馬県)、コマツナ(埼玉県)	
7/8	チンゲンサイ(群馬県)	
7/11	ナス(群馬県)、キュウリ(埼玉県)	

検査機関 財団法人日本食品分析センター

④水道水の測定結果

【埼玉県発表分】(県営浄水場)

戸田市は主に大久保浄水場から給水しております。

採水日	採水場所	測定結果
7/31	大久保浄水場、庄和浄水場、行田浄水場、新三郷浄水場、吉見浄水場	放射性ヨウ素・放射性セシウムともに不検出

【戸田市発表分】

採水日	採水場所	測定結果
7/25	中部浄水場、東部浄水場、西部浄水場	放射性ヨウ素・放射性セシウムともに不検出

測定機関：日本環境調査研究所

⑤浄水発生土・下水汚泥の測定結果

浄水発生土・下水汚泥の放射線量は原子力災害対策本部が示した「放射性物質が検出された上下水処理等副次産物の当面の取扱いに関する考え方」が示す指標値10万ベクレル/kgに対しては、低い値となっており、現在、厳重な管理の元、施設内に仮置きされています。

【埼玉県発表分】

大久保浄水場の浄水発生土を採取し放射性物質を測定

採取日	浄水発生土(ベクレル/kg)			
	ヨウ素		セシウム	
	131	134	137	合計
7/15	不検出	580	690	1270

荒川水循環センター(戸田市笹目)の汚泥を採取し放射性物質を測定

採取日	汚泥(ベクレル/kg)				焼却灰(ベクレル/kg)				
	ヨウ素		セシウム		焼却灰の状態	ヨウ素			セシウム
	131	134	137	合計		131	134	137	
7/7	不検出	85	110	195	乾燥 加湿	不検出 不検出	3,500 2,500	4,000 2,900	7,500 5,400

※「焼却灰の状態」欄の「乾燥」とは汚泥を焼却炉で焼却したものをいい、「加湿」とは乾燥状態の焼却灰に運搬時の飛散防止のため水分を加えたものをいいます。

【戸田市発表分】

戸田市各ポンプ場の汚泥を採取し放射性物質を測定〔単位：ベクレル(Bq)/kg〕

採取日	ポンプ場名(所在地)	測定項目	放射性ヨウ素		放射性セシウム	
			I-131	Cs-134	Cs-137	合計
			7/15	新曽ポンプ場(新曽南3-1-8)	原体 乾物換算値※1	不検出 不検出
	下戸田ポンプ場(喜沢南1-6-20)	原体 乾物換算値※1	不検出 不検出	190 210	200 220	390 430

測定機関：(株)化研 本社・水戸研究所

※1 乾物換算値は含水率より補正した値です。

⑥プール水中の測定結果(戸田市)

採水日	場所	測定結果
7/13(晴)	戸田市の全小学校	放射性ヨウ素・放射性セシウムともに不検出

⑦土壌中の測定結果(戸田市)

この測定結果は原子力災害対策本部の農用地土壌中放射性セシウム濃度の上限値5000ベクレル/kgに対し十分に低い値となっています。

採取日：6月24日〔単位：ベクレル(Bq)/kg〕

採取場所	放射性ヨウ素 131	放射性セシウム 134	放射性セシウム 137
戸田市役所【南側緑地帯】	検出せず	47	69
喜沢南保育園【園庭中央】	検出せず	25	32
こどもの国【公園中央】	検出せず	16	28
新曽北小学校【校庭中央】	検出せず	57	73
早瀬公園【公園中央】	検出せず	24	21
美女木小学校【校庭中央】	検出せず	76	85

測定機関：住重試験検査㈱

紙面の都合上、文字がとても小さくなってしまいました事をお詫び申し上げます。

刷新の会が提出した決議・意見書案

決議・意見書案の要旨	結果
放射性物質から県民の安全と安心を守る決議	全文採用
エネルギー政策の転換を求める意見書	一部採用
二重ローン問題の解決を求める意見書	一部採用
災害救助法運用拡充を求める意見書	一部採用
被災者生活再建支援法の改善を求める意見書	一部採用
国会議員の歳費減額延長を求める意見書	不採用
不活化ポリオワクチン早期導入を求める意見書	不採用
国旗侮辱罪の新設を求める意見書	不採用
パチンコ違法化を求める意見書	不採用

※太字は菅原が作成したものです。

議員提出議案の主な内容 意見書

当面の電力需給対策に関する意見書
震災からの復興に向けた補正予算の早期編成を求める意見書
殉職消防団員の共済弔慰金全額支給と消防団員の処遇改善を求める意見書
福島第一原子力発電所の事故による放射能対策を求める意見書
防災機能の強化等を求める意見書
離婚・別居後の親子の面会交流に関する法整備と支援を求める意見書
警察官の増員を求める意見書
八ッ場ダム本体工事の早期着手を求める意見書
菅直人内閣の早期退陣を求める意見書

決議

県内建設業者の育成に向け、受注環境の改善を求める決議
放射性物質から県民の安全と安心を守る決議

採択した請願

教育基本法・学習指導要領の目標を達成するため、最も適した歴史・公民教科書の採択を求める請願
夫婦別居・離婚後の親子の面会交流を担保する特別法制定と面会交流支援について国への意見書提出を求める請願

すがわら文仁（ふみひと）プロフィール

- 党派 無所属
- 略歴 昭和50年7月30日 生まれ 現在36歳
戸田市立美谷本小学校・美笹中学校・県立伊奈学園総合高校・日本体育大学卒業（教員免許取得）明治大学大学院修了（公共政策学修士）元社会体育事業会社（現在NPO）代表
- 政治歴
平成17年 市議会選挙 1,993票を賜り当選（第2位）
平成21年 市議会選挙 4,143票を賜り当選（市内歴代1位）
平成23年 県議会選挙 16,350票を賜り当選（選挙区歴代1位）
- 役職 企画財政常任委員会委員 地方自治学会会員 若手政治家養成塾事務局長 戸田市体操協会会長 自治体学会海員など
- 趣味 読書 史跡巡り B級グルメ探し
- 特技 バク転 のび太並みの早寝
- 座右の銘
上杉鷹山公「なせばなる、なさねばならぬ、なにごとく」
- 夢：努力した人が報われる社会の実現
※ツイッター、フェイスブックも活用中です！

健全な民主主義のために、政治カンパのお願い

すがわら文仁は、政党や団体、企業の支援は一切受けず、志だけで真正正銘の「ゼロ」から政治活動をはじめました。県議会議員選挙でも100%市民のためと、一切のしがらみなく選挙を戦うことができました。これからも徹底して説明責任を果たすために、目に見える活動を心がけますが、活動範囲が広がった分、広報費が不足している状態です。すがわらのしがらみのない、真面目な政治活動を支えていただく、健全なご支援のカンパを募集しております。公職選挙法により、カンパいただきました方は、ご一報下さいますよう、お願い申し上げます。（振込先） 巣鴨信用金庫 西戸田支店 普 3168636
スガワラフミヒトサポーターズ スガワラフミヒト

知事提出議案の主な概要

85号	平成23年度一般会計補正予算 補正額+48億743万1千円 補正後予算の累計額 →1兆6947億4843万1千円 主な事業（部局別）
総務部	被災児童生徒修学支援基金 2億1900万円 被災した児童生徒の就学支援基金
県民生活部	県政広報テレビ放送費 1億770万円 地デジDボタンを活用した緊急災害情報などのコンテンツを作成する（テレビ玉）
危機管理防災部	防災体制整備費 2020万円 帰宅困難者対策として帰宅支援ステーション（コンビニ等）との連携を強化する
福祉部	老人福祉施設整備助成金 2億5200万円 心身障害児（者）援護施設等整備助成金 8550万円 国の一次補正予算を活用し、介護施設や障害者援護施設の非常用自家発電費用を整備する
産業労働部	中小企業制度融資利子補給費 1億3130万円 震災で影響を受けた企業に過去最低の金利（実質1.6%）で支援する（融資限度額5000万円） 緊急雇用創出基金補助金 10億円 国交付金を財源とする市町村の雇用創出事業費を拡充する 被災者雇用促進事業費 7520万円 被災者を対象にした再就職促進研修
農林部	安全安心農作物確保対策費 1440万円 県産農畜産物の放射性物質の分析と公表を行なう
県土整備部	歩行者通行環境点検事業費 2570万円 道路照明灯点検調査事業費 2350万円 河川堤防調査事業費 1890万円 緊急雇用対策として通行、照明、堤防等を調査する
都市整備部	災害復旧費 1540万円 破損した戸田公園漕艇場の護岸復旧工事など
企業局	水道用水供給費 6億1100万円 水道用水の放射性物質を除去するために必要な活性炭を購入する
教育局	災害復旧費 7390万円 被害を受けた県立学校28校の補修
警察本部	交通安全意識高揚軽費 1億5915万円 緊急雇用対策として交通安全のための反射板を配布し着用を促進する
93号	財産の取得（4億4362万円25万人分）
94号	計画的なタミフル購入で備蓄数は150万人分に。 市の配置分合（鳩ヶ谷市が川口市に編入） 10月11日に合併するための県議会の議決です。

編集後記

3.11の大震災は、我々国民一人に様々な挑戦状を叩き付けています。エネルギー政策の転換もその一つです。今後、原発の担ってきた発電分を補うために、再生可能エネルギーなどの代替エネルギーのベストミックスを選択し、原発に頼らない状態をいち早く構築していくべきです。

地域でもエネルギーの地産地消という考え方を基本に、太陽光発電の推進のみならず、例えばマイクロ水力発電、バイオマス発電や、天然ガス発電事業など、エネルギー転換の可能性を徹底して追求していく事が行われなければなりません。叡智を結集させ、地方でモデルをつくって、一点突破、全面展開を果たすのです。

無責任総理の下で、完全に機能不全に陥っている今の政権には、もう任せられません。私は県議の立場で、地道に政策提言と議論を進めて「この国を変えるのは地方だ」という気概で、県政改革に取り組みます。必ずや、必ずや我が国はこの国難を乗り越えられるはずで